

<寄附講座設立の概要>

- ✓ 高齢化に伴うがん・血管病の増加に対し、低侵襲治療の需要が増加している。
- ✓ Interventional Radiology (IVR) 専門医数が需要に比して不足している。
- ✓ 新しいデバイス・手技の開発が進んでおり、臨床研究と基礎研究の架け橋として**特化した教育や研究が必要**

大分大学医学部医学科



専任教員の確保
教育・研究の支援

診療の連携

社会医療法人敬和会
岡病院



低侵襲画像下治療学（IVR学）講座

教育

放射線医学の専修医/研修医、医学生
を対象とした高度な診療教育

- ・ 超音波、CT、MRI、核医学検査の診断技術の習得
- ・ がんや血管病（動脈瘤や血管奇形など）に対するIVR（画像下治療）の広い知識の習得

高度な診断・治療技術を有する
医療人の育成

研究

次世代診断技術の開発

- ・ 新たなIVRデバイス開発
- ・ 高精度画像診断機器を用いた診断技術の開発
- ・ **臨床試験の実施**
治療成績向上を目的とした新しい治療法の臨床試験の実施

新規診断・治療法、早期発見法の開発

臨床

放射線科

- ・ 早期発見・治療介入→予後改善
- ・ 専任教員確保による医療の質向上
- ・ 育成された医師による岡病院との診療連携

がん・血管病に対する質の高い医療
により地域医療・地域住人への貢献